

「いじめ・不登校対策の推進」の取組事例

大分県教育庁日田教育事務所

管内各小・中学校において、いじめ・不登校の「未然防止」に向けた短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進、SC・SSW等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の定期的開催等、学校の組織的な取組が進められています。そこで、「2学期取組状況調査」から、「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。自校のいじめ・不登校対策の推進に向けた参考資料としてご活用ください。

「人間関係づくりプログラム」の取組事例



日田市立石井小学校
短時間人間関係づくりプログラム



日田市立前津江小学校
人間関係づくりプログラム:全校



・児童生徒の良好な人間関係を構築し、いじめ・不登校をうまない学校づくりを推進し、未然防止及び学級経営力の向上に向けて組織的に取り組むことができた。

・人間関係づくりプログラム(まえつえタイム)を定期的に行うことで、2学期の児童アンケートでも、自己肯定感に関する項目で肯定的回答がすべて90%を超えた。
・2学期はロングを全校や低高学年別で実施する機会を設け、他学年との繋がりも深められるようにしていった。

取組事例「地域人材・外部人材を活用したワークショップ」 日田市立津江小学校



・劇団「アートインAsibina(あしびなー)」による児童劇「ねこはしる」でワークショップ(演技の練習や楽器作り)を体験。
【劇後の児童の感想】
・「らん(主人公 ねこ)の悲しさが伝わってきて私も悲しい気持ちになった。
・グループのみんなと振り付けを考えるのも劇に出演するのも楽しかった。
・劇団のみなさんの演技やナレーションは大変参考になった。

日田市立戸山中学校
全校コミュニケーションタイム



・今学期は全校でコミュニケーションタイムを行い、さらに人間関係プログラムが追加されたことで仲間づくりがより深まった。

SC・SSW等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の成果

・校内の対策委員会で「いじめ」「不登校傾向」の児童について協議し、必要に応じて全教職員と共通理解してきたことで、組織的・計画的に対応することができた。特に不登校傾向の児童については、SSWと連携し学校復帰につなげることができた。また、SCの活用についても、保護者へ啓発を積極的に行うとともに、希望のあった保護者に相談しやすい環境を整えた。また、SC・SSWに来校してもらい話し合いや授業観察等を実施し児童の問題解決に向けて連携していった。

・生徒指導情報交換会として毎週金曜日、SC、SSW、特別支援サポーター等の専門スタッフと管理職、学年主任、生徒指導担当との情報交換会を行い専門スタッフと連携しながら不登校生徒への対応を検討している。また、外部機関との連携も行っている。

日田市立いつま小学校
なかよしタイム「いいとこみつけ」

・人間関係づくりプログラムは週1回程度のショートエクササイズと月1回程度のロングエクササイズを実施。
・ロングエクササイズに関して、1～6年生混合で活動。難易度によって分けて実施。

「体力向上の推進と健康課題への対応」の取組事例

大分県教育庁 日田教育事務所

管内各小・中学校において、「一校一実践」の取組内容の充実、健康増進に向けた取組の推進、肥満対策・むし歯予防対策の推進等、学校と家庭・地域が協働した取組を進められています。そこで、「2学期取組状況調査」から「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。自校の体力向上の推進、健康課題への対応に向けた参考資料としてご活用ください。



「体力向上の推進」の取組事例(体力向上プランに基づいた一校一実践の取組)

家庭と連携した「体力向上の推進」の取組 日田市立津江中学校

日田市立南部中学校



朝の全校ストレッチタイム



若鷹祭 大縄とび練習風景



駅伝練習

・昨年度低下していた柔軟性を高めるために、本年度より週1回の朝のストレッチを入れたことが、柔軟性の改善に少しだけ成果が見られた。
 ・この結果をもとに、体育や部活動で補強運動の中にストレッチや体幹運動を取り入れた。

「自宅運動」通信 9月号 後半 NO.7
津江中学校 保チーム(厚生保健委員会)
 Health (健康)

年 名前

テーマ 「10月1日(土)運動会に向けて体力アップ!」
 目標・・・11日間に4回以上

<運動の内容>
 「持久力」・・・ランニングまたはウォーキング、
 「筋力」・・・脚立伏せ、開脚、スクワット、ラダー、ランジ、
 「柔軟性」・・・ストレッチを毎日。
 運動し、むねび、むねびの運動もOKです。
 1日(1日)の自宅運動は、約15分～20分です。

<保護者の方より>
 ・部活や駅伝練習で平日の夕方は、疲れていて、
 水曜や日曜も走球をして頑張っています。少しの時間でストレッチできるという
 ・体を動かそうという意識があるのがわかります。
 ・5分ずつでも続けられるように、頑張りますよ。

<くまのチャットひとこと>
 ・運動会は10月1日(土)に延期されました。100m走、ムカデ走、1～9リレーなど練習は順調です。
 また、駅伝大会(10月13日(木)三鷹中)に向けて、選手は頑張っています。
 新幹線特急で「スネーク」の旗を掲げよう!!
 ・全員ではありませんが、自宅運動通信の「提出遅れ」が急に増えました。
 必ず提出の期日を守って、遅れを減らしていきましょう。

日田市立石井小学校 石井小サーキット



・今学期は特に校内マラソン大会に向け、低・中・高学年を単位とし、朝練習・昼休み練習に継続的に取り組み、93%の生徒が目標タイムをクリアすることができた。
 ・各学年で、継続的に体育の時間に「石井小サーキット」を取り入れ基礎体力の向上に努めている。

日田市立前津江小学校 校内マラソン大会



・全校児童(低高別)で週2回「釈迦岳マラソン」(5分間持久走)を実施。個人でめあてを持って取り組むことと、全校児童の合計(1周→1m)を1231m(周)の釈迦岳に何回到達するかを児童玄関に掲示することで意欲的に取り組めるようにした。
 ・2学期後半は校内マラソン大会に向け、体育に時間の最初にも持久走を実施。最後まで自分のペースで走り切り、児童アンケート「釈迦岳マラソンで、めあてを立てて、あきらめずに走りましたか」でも肯定的回答は100%となった。

日田市立津江小学校 小中合同マラソン大会



日田市立いつま小学校 元気タイム「チャレンジランニング」



一校一実践「家庭での『自宅運動』」
 【内容】
 (担当教員)
 ・毎月、月の前半と後半2回、通信を発行。
 (点検表も兼ねる)
 (家庭)
 ・生徒は、自宅運動の取り組みを記録し、提出日に提出する。
 ・保護者は、子どもが取り組んでいる様子についてコメントする。

「健康課題への対応」の取組事例

津江小 (熱中症予防授業) ※朝食の大切さを理解

野上小 食育・みそ汁の具材を考えよう

いつま小 食育

津江中 養護教諭作成の掲示物

「安全・安心な教育環境の確保」の取組事例

大分県教育庁日田教育事務所

管内各小・中学校において、学校・家庭・地域との協働による防災訓練の推進、防災教育コーディネーターを中心とした家庭・地域との協働による取組の推進等、学校の組織的な取組が進められています。そこで、「2学期取組状況調査」から「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。自校の安全・安心な教育環境の確保に向けた参考資料としてご活用ください。

「CS及び外部機関と連携・協力した防災講座」日田市立津江小中学校

概要

【背景】令和2年7月の豪雨災害の経験から『想定外を想定する』ことの必要性を痛感し、計画（年4回）
 【実施日】令和4年12月6日(火)5・6時間目(対象は5年生～9年生)
 【協力】中津江公民館、中津江振興協議会、上津江公民館、上津江地区振興協議会

内容

【内容】
 (1) 実演「通信型AIロボ『temi』を使った実践型活動」
 災害の発生により避難所となった津江小中学校の体育館には医師等に代わって通信型AIロボ『temi』が設置されたことを想定して、避難所と医療機関を遠隔でつなぎ、避難者役の生徒が健康相談を行う体験を実施。
 (2) ワークショップ「応急処置法と負傷者搬送」※写真参照



内容(1)



大分大学救命医の石井圭亮先生によるアドバイスのもと避難者役の生徒が、遠隔で健康相談を実施



内容(2)・2本の竹に毛布を折り返して担架を作成。
 ・留意点として負傷者の足を進行方向に向けることを確認。

関係者

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
板井 幸則 先生

NPO法人リエラ
河井 昌猛 副代表

NPO法人リエラ
河津 由美 事務局長

家庭・地域と協働した防災教室

地域と協働した防災学習



玖珠町立くす星翔中学校
令和4年10月14日実施
 【協力】地域30名、防災士30名
 【内容】災害図上訓練(DIG)
 【概要】大きな地図をみんなで囲み、災害をイメージして地域の課題を発見し、災害の対応や事前の対策などを検討



日田市立石井小学校
防災教室
(消防署と協働)
(11/11実施)



日田市立いつま小学校
不審者対応避難訓練・防災集会
(警察署と協働)
(10/13実施)



玖珠町立小田小学校



防犯教室(警察署と協働)
(11/8実施)



声かけ事案や不審電話の対応について学習